



出前授業の様子

漁港が整備された現在のハーリーは、港内を横断するスタイルですが、かつては沖へ向かって船を漕ぎ出し、海岸沿いは見物客でいっぱいになったそうです。沖へ出た船が戻ってくるのが見えると婦人たちは腰あたりまで海水につかり、手招きや力チャーシーで迎えたそうです。

仲泊幼小中学校では、地域の伝統継承を目的として、ハーリー見学や参加を行っています。小学校高学年は果物取り競争、中学生は体験ハーリー、PTAや教職員もハーリーに出場しています。また近年からハーリーの事前学習として地域の人材が学校に向いて講座を行い、ハーリーの由来や歴史、地域の皆さんの行事への関わり方を教え、伝統を受け

継いでいくことへの強い思いを話しています。

近年ではハーリー競技だけでなく、リゾート地ならではのアトラクションも取り入れるなど、少しずつ行事のスタイルは変化していますが、ハーリーに対する地域の皆さんの気持ちや思いは変わらないようです。

(町田)

《参考文献》

・『恩納村誌』 仲松弥秀著 (1980)

・『部落年中行事表 字前兼久』

・『あの頃のうんな』 ～写真が語る激動の百年～

恩納村博物館 (2008)

「恩納村史編さん室」と改めました。

これまで「恩納村誌編さん室」という名称で業務を行ってきましたが、四月から、「誌」が「史」になりました。今後も引き続き、様々な分野で調査や資料収集に努めてまいります。村民の皆さまには今年度も聞き取り調査などでお世話になりますが、変わらぬご協力くださいますようお願い申し上げます。

村史編さん室 一同



◆◆◆2017年慰霊の日特別展のお知らせ◆◆◆

現在村史編さん室ですすめている調査や残されている史料の紹介を通して、恩納村における戦争の記憶と記録の継承をテーマに下記の日程で特別展を開催いたします。多くのご参加をお待ちしております。

日 時：2017年6月12日(月)～6月29日(木) 8:30～17:00  
(役場閉庁時は見られません。ご了承ください。)

会 場：恩納村役場本庁一階ピロティ  
お問合せ：恩納村史編さん室事務局 (982-5112)

<2016年のアンケートからいただいた声>

- ◇戦争について、たくさん話を聞いてきて、知っているつもりだったけど、やっぱり知らないことの方が多く感じた。苦しい体験をはなしてくれた体験者(生き残った人たち)の気持ちに、常に思いをはせる努力をしないと、この体験は少しずつ忘れられていくと思う。だから、村の戦争の記憶をこのような所で展示していただけるのは、とても意義深いことだと思った。
- ◇ふつうは恩納村のせん争の話はきかないけど、あって本や写真、ビデオもあってわかりやすかった。
- ◇毎年してほしい。もっとたくさんの方々へ、見て、知ってもらいたいです。